

事業番号	02 06 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	鉄道振興対策事業費			部局	企画振興部交通政策局	課・室	交通政策課
				実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

県内鉄道事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度において全社が赤字決算であり、依然厳しい経営環境にあることから、安全・安定運行の維持が課題。
また、北陸新幹線については、大阪まで全線開業により整備効果が完全に発揮され、県民の利便性向上に加え、経済・観光等に大きな効果が期待されるが、敦賀～新大阪間は未着工の状態。

2 事業目的

鉄道の安全・安定運行を維持する等の取組を支援し、県民の移動と地域間交流の手段を確保する。
県民が北陸新幹線の開業効果享受するため、北陸新幹線の早期全線開業を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 県内鉄道における安全・安定運行の維持と利便性の向上
- ・鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助等を実施
 - ・移動円滑化による利便性向上のため、鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対して補助を実施
 - ・各路線の沿線自治体等で構成する活性化組織に参画し、利便促進や要望を実施
- ② 北陸新幹線の建設促進
- ・沿線都府県で構成する「北陸新幹線建設促進同盟会」により、北陸新幹線の敦賀以西における早期着工、早期開業を国等に対して要望
 - ・早期全線開業の啓発のため、「北陸新幹線建設促進同盟会」により、建設促進に関する調査研究及び広報等を実施
- ③ 地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業
- ・原油価格高騰の影響を受けた地域鉄道事業者の運転用動力費に要する経費を助成し、経営を支援
- ④ 地域鉄道安全性向上支援事業（緊急対策分）
- ・令和5年6月に発生したしなの鉄道の脱線事故を受け、再発防止策として実施する木まクラギのコンクリート化（PC化）等を進めるために必要な設備整備に対し、国、沿線市町村と協調して支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	鉄道利用者数	千人	51,603 (R2実績)	52,974 (R3実績)	↗	58,218 (R4実績)	↗	57,125	達成	県民の移動と地域間交流を支える鉄道の活性化を図るため、鉄道の利用者数を指標として設定し、利用者数の増を目標とする。 ※R5年度6、9、11及び2月補正予算案のシートのR4年度実績欄（R3実績）が見込値となっていたため修正しました（修正前：54,364、修正後：52,974）	
②	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0	達成	鉄道の安全・安定運行を維持するため、重大事故の発生件数を成果指標に設定し、発生しないことを目標とする。	
③	平均利用者数が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等整備率	%	95.0	94.4	↘	94.4	→	94.4	達成	国の基本方針で令和7年度末までにバリアフリー化する基準に該当する駅について、令和7年度末までに整備率100%にするため、令和5年度時点は整備率94.4%を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	★公共交通機関利用者数	千人	2020 (R2)	69,077	2021 (R3)	72,438	2022 (R4)	82,180	2026 (R8)	100,000
3-1④	本州中央部広域交流圏の形成										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	91,415	506,450	88,791	686,656	310,082	593,384	3.0
R4年度	108,292	382,028	148,786	639,106	304,106	542,356	3.0
R3年度	0	466,653	331,740	798,393	212,013	667,316	3.0

事業番号	02 06 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費		部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課

7 主な取組実績と成果

① 県内鉄道における安全・安定運行の維持と利便性の向上

・地域鉄道事業者（長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株)）が行う、車両更新、マクラギPC化、鉄道橋梁補強等の鉄道の安全性を確保するために必要な設備整備や維持修繕に対して支援を実施した。（県補助総額：501,115千円）



車両更新(しなの鉄道(株))



マクラギPC化(長野電鉄(株))

② 北陸新幹線の建設促進

・北陸新幹線沿線都府県で構成する「北陸新幹線建設促進同盟会」を通じて、敦賀以西の早期開業を国等に求める要望活動（R5年度は計2回）や、パンフレットの作成、公式SNSによる情報発信、機運醸成イベントを開催した。



同盟会による省庁への要望活動



北陸新幹線金沢・敦賀間
しゅん功開業式・祝賀会(福井)

③ 地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業

・原油高騰の影響を受け厳しい経営環境にある地域鉄道事業者（長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株)）の負担軽減と運行の確保を図るため、運転用の動力に要する経費を支援した。（県補助総額：75,979千円）

④ 地域鉄道安全性向上支援事業（緊急対策分）

・R5.6月に発生したしなの鉄道の脱線事故を受け、再発防止策として実施する木マクラギのコンクリート化（PC化）等を進めるために必要な設備整備に対し、国、沿線市町村と協調して支援した。（県補助総額：8,330千円）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	鉄道利用者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って行動制限がなくなったことや、県内各鉄道路線（JR、民間鉄道）の沿線自治体等で構成する活性化組織において、啓発、広報、利用促進活動を実施したことも要因となり、前年度に比べ増加した。							
指標②	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故については、各鉄道事業者において、安全性を担保するための鉄道路線の点検や安全性向上のため必要な設備整備を実施したことにより、前年度に引き続き未発生となった。							
指標③	平均利用者数が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等整備率	R4年度推移	↘	R5年度推移	→	達成状況	達成
R5年度に予定されていた対象駅の整備は翌年度に繰越しとなったため、整備率は前年度から変更がなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・県内各鉄道路線の利用者数については、新型コロナウイルス収束に伴うインバウンド客の増加等によりある程度増加してはいるもののコロナ前までの水準に完全には戻ってはならず、更なる増加、利便性向上に向けた取組が必要である。
 ・安全安心を確保するための鉄道施設の設備整備については、昨年度しなの鉄道において発生した脱線事故も踏まえ、事業者に対し設備整備の必要性の精査を行うよう求め、県はそれに対する十分な支援を実施することが必要である。

(2) 事業改善の方策

・人口減少やマイカーへの移転等の状況を踏まえながら、県内鉄道路線の利用者数増加や利便性向上に向けて、各路線の沿線自治体等で構成する活性化組織に地域振興局も一緒に加わり、沿線自治体等関係者との連携を強化していく。
 加えて、路線や沿線地域を巡るスタンプラリーや謎解きイベントの実施など、長期的に利用者の増加を図ることができる新たな活性化及び利便性向上策の取組を検討・提案し、実施する。
 ・また、県主催の「長野県JR連絡調整会議」について、JR各社と沿線関係者が、利用者数増加や沿線活性化のために必要な情報を共有できる場となるよう、事前を取組を集約して類型化し、各協議会における新たな取組のヒントとなるようにする。
 ・鉄道事業者が行う鉄道の安全性確保、駅舎のバリアフリー化のための整備に対する十分な支援となるよう、事業者に対して、7月など早い時期から必要となる事業の確認を行うとともに、聞き取りや調査を複数回実施する。

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	----------------	-----	-------

細事業No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	鉄道振興対策事業費		665,516 千円	540,556 千円	591,584 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域鉄道安全性向上事業補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 支給額：457,782千円（前年度繰越分含む）		
2	地域鉄道安全性向上支援事業補助金（緊急対策分）	補助金	令和5年6月に発生したしなの鉄道の脱線事故を受け、再発防止策として実施する木マクラギのコンクリート化（PC化）等を進めるために必要な設備整備に対し、国、沿線市町村と協調して支援 補助対象事業者：しなの鉄道(株) 支給額：8,330千円		
3	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	移動円滑化のため、鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対して補助を実施 ※半導体不足や原材料費高騰等の影響を受けた資材の納入遅延などの影響により工期が延長となったため、令和6年度へ繰越 支給対象1者、支給額（令和6年度へ全額繰越）		
4	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会の構成員として、要望活動、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会1回出席、JR西日本及びJR東日本に対する要望活動（1月） 負担額：150千円		
5	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	中央東線高速化促進広域期成同盟会の構成員として、要望活動、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会1回出席、JR東日本・国に対する要望活動（11月） 負担額：200千円		
6	大糸線活性化協議会負担金	負担金	大糸線活性化協議会の構成員として、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会1回出席、福井駅における大糸線PRイベントへの参画（2月） 負担額：500千円		
7	しなの鉄道活性化協議会負担金	負担金	しなの鉄道活性化協議会の構成員として、調査、利用促進活動、生活交通改善事業計画策定を実施 乗降者数調査の実施（6月、8月、3月） 負担額：5,310千円		
8	アルピコ交通上高地線橋梁補強支援事業補助金	補助金	令和3年8月の大雨災害により被害を受けたアルピコ交通上高地線の田川橋梁、奈良井川橋梁に対し、安全性向上を図るため、国及び市町村と協調して補強に要する経費を補助 補助対象事業者：アルピコ交通(株) 支給額：43,333千円（前年度繰越分）		
9	地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業交付金	交付金	原油価格高騰の影響を受けた地域鉄道事業者の運転用動力費に要する経費を助成し、経営を支援 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 支給額：75,979千円		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	北陸新幹線建設促進費	1,800 千円	1,800 千円	1,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	同盟会が建設促進等に係る国等への要請活動、建設促進に関する調査研究及び広報等を実施 建設促進等に係る国等への要請活動（5月、11月）、公式SNSによる広報（随時）、機運醸成イベントの開催（10月、12月）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	しなの鉄道設備投資等借入金損失補償	債務負担行為（元 金1,650,000千円 及びこれに対する利息 （遅延利息を含む） 相当額並びに補償履 行日までの利息）	債務負担行為（元 金1,330,000千円 及びこれに対する利息 （遅延利息を含む） 相当額並びに補償履 行日までの利息	債務負担行為（元 金1,000,000千円 及びこれに対する利息 （遅延利息を含む） 相当額並びに補償履 行日までの利息）
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	しなの鉄道設備投資資金等借入金 損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が金融機関 に対し損失補償を実施 事業者の要望に基づき損失補償を実施（3月）	